

リーフで楽しむローメンテナンスの花壇

【講習開催日】 令和4年8月8日

【場所】 笠間町公園（栄区）

【現状と課題】

- ・季節の花を楽しむ花壇はあるが、手入れが少なくリーフを楽しめる宿根草花壇が少ない。
- ・雑草が生え、土が固くなってしまっている。石やガラも多い。

【花壇づくりの方針】

- ・多年草や宿根草、低木を中心としたローメンテナンスで楽しむ花壇づくりを図る。
- ・区画された花壇というよりも、ナチュラルな植栽帯ゾーンを意識する。

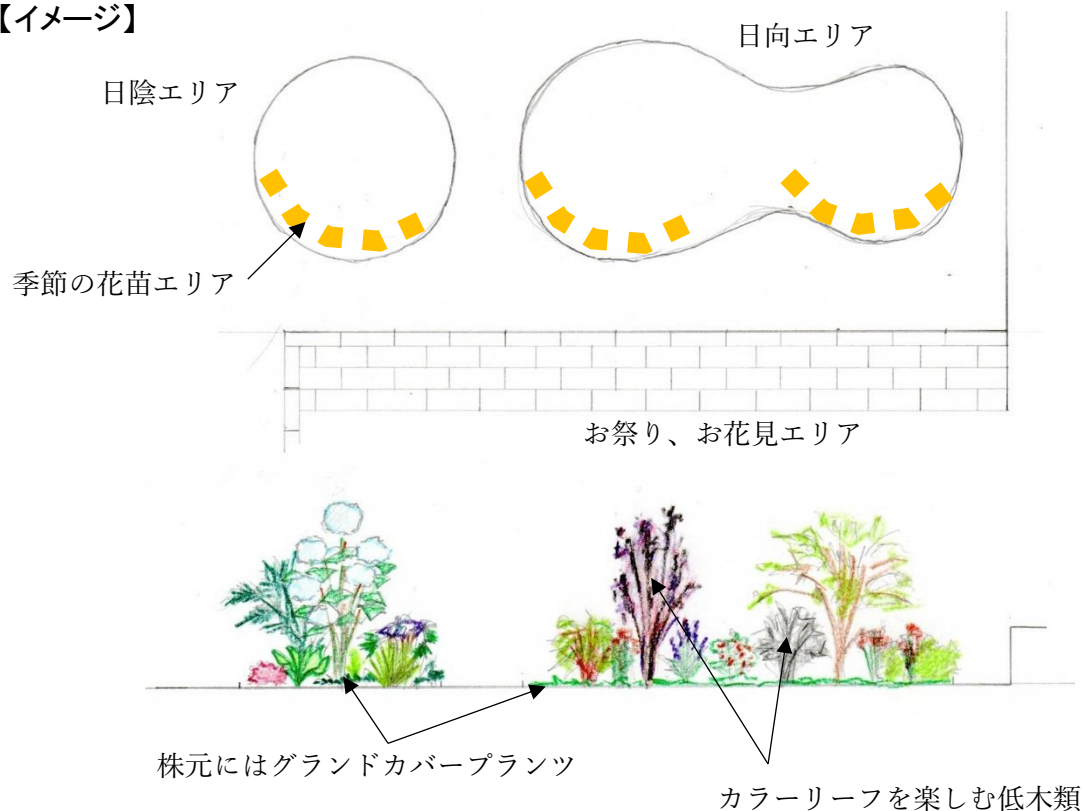
【植物を選ぶポイント】

- ・季節の移り変わりを楽しめる植栽とする。
- ・花の形（大輪系、小花系）や葉の大きさに変化をつける。
- ・植物の高さに変化をつける（背の高くなる植物とグランドカバープランツ等）。
- ・カラーリーフをポイントで入れる。

【植物を植える時のポイント(配置)】

- ・植物の生長を考慮し、空間にゆとりを持たせる。
- ・落葉種が隣合せになると冬季に寂しくなるので考慮する。

【イメージ】





①講座前

せつかくのスペースですが、雑草が生え活かされていないエリアです。また、土も固くなってしまっています。

多くの地域住民が利用する公園でもあり、お花見の時期はとても賑わう場所に隣接しています。中低木や宿根草を使い維持管理の手間を少しでも軽減できる花壇、リーフを楽しむことのできる花壇を作っていきます。



②事前準備

公園愛護会の皆様が中心となり、「はまっ子ユーク」や培養土をすき込みながら花壇内の土を耕しました。

また、草刈りをされてしまわないように花壇との境界をエッジング材で囲い、ナチュラルな雰囲気になるように湾曲させました。



③植物の説明

準備された植物の名前や特徴の説明を行い、情報を共有しました。(植物の詳細は別紙)



④植物配置と植え込み作業

最初に、メインとなるアジサイアナベル等を花壇全体のバランスを考えて配置します。その後に宿根草や季節の植物（一年草）をポットのまま配置していきます。

地面に這うグラウンドカバープランツは、背丈の高くなる植物の足元に配置していきます。



カラーリーフもバランスを考えながら配置していきます。植物の成長を考慮しながら、ゆったりとした配置をしていきましょう。



配置が決まったら、植えていきます。根鉢が土から出てしまったり（浅植え）、深く植えすぎたりしないように注意します。ポットから取り出した時に根が回っているものは、軽くほぐしてから植え付けましょう。



⑤花壇の仕上げ

立ち入れそうな花壇手前には、生木チップを敷き詰めていきます。



⑥水やり

植え付けた直後に、株元へしっかりと水やりをします。



⑥完成

フィソカルパスやアジサイアナベルなどの背丈の高くなる植物をポイントに、高低差のある花壇ができました。シモツケやホワイトセージといったカラーリーフも植えながら、ローメンテナンスで楽しむことのできる花壇が完成しました。

■使用植物

中低木、宿根草

| | |
|---|--|
|  | <p>アジサイ アナベル（白） 落葉性低木。 真っ白で素敵な花を咲かせます。 花後はドライフラワーとしても楽しめます。 通常のアジサイと異なり、花を咲かせる年の 2～3 月に剪定を行います。</p> |
|  | <p>マホニア コンフューサ 常緑性低木。 冬でもきれいな緑色の葉を鑑賞できます。半日陰でも育つうえに病虫害も少なく、初心者でも扱いやすい植物です。出始めの葉は赤く、次第に濃い緑色に変わります。成長の度合いや気温の影響によって色の変化を楽しむのも魅力です。</p> |
|  | <p>マートル 斑入り 常緑性低木。 白い小さな花を 6 月頃より咲かせ、上品な香りがします。結婚式や記念樹、贈り物にも用いられ、「祝いの木」の別名があります。葉はお肉料理の臭み消しに用いられることもあります。</p> |
|  | <p>フィソカルパス オールブラック 落葉性低木。 アメリカコデマリの品種です。春には赤みを帯びた葉がたくさん出てよく分岐し、自然と良い樹形になります。秋冬になると名前のおり真っ黒な紅葉を見せ、シックな美しさのあるカラーリーフです。花もたくさん咲きます。</p> |
|  | <p>アベリア 常緑性で手入れをすることでコンパクトに仕立てることもできます。 開花期も長く、白い小さな可愛らし花を咲かせます。</p> |



シモツケ ゴールドフレーム

落葉性低木。

ライム色の葉がとても美しく、秋には紅葉します。

春にはピンク色の可愛らしい花を楽しむことができます。



ホワイトセージ

常緑性低木。

葉には油分があり、こするとセージの香りを一層強くしたような芳香があります。春に咲く花は白から淡いラベンダー色で、ミツバチにとっての蜜源でもあります。



ギボウシ 斑入り

冬に地上部は枯れてしまいますが、春になると再び芽吹いてきます。常緑の植物と合わせて植栽しましょう。明るい半日陰を好みます。



クリスマスローズ

多年草で、多くは常緑ですが、落葉するものもあります。強健で育てやすいものが多いのも特徴です。

日陰の女王と呼ばれることもあります。

秋から春までは日がよく当たる、落葉樹の木陰などが最適です。



ヒューケラ

常緑性でほとんど手入れは必要ありません。

耐陰性があり、シェードガーデンなどにも活躍します。

カラーバリエーションも豊富で、花壇や寄せ植えにはとても便利な植物です。



カレックス エヴァリロ
常緑で明るいライム色の葉が爽やかなカレックスです。
水はけの良い場所を好みますが、夏場は水切れを起こしやすいので水やりをたっぷり与えます。



ディコンドラ シルバー
葉に白い毛が生えてシルバーに見えるグランドカバープランツです。地面を這うようにどんどん広がっていきます。多湿には弱いので、乾湿のメリハリをつけて水やりをして下さい。



バロータ
常緑性の多年草で、ふわふわとした柔らかな毛に覆われています。葉を触ると甘い香りがします。
日当たりと風通しの良い場所を好みます。土が乾燥したらたっぷり水やりをしますが、極端に乾くと落葉や枯れてしまうこともあります。



ヤブコウジ 斑入り
常緑性低木。
半日陰、明るい日陰が適しています。やや湿り気のある土壌を好みますが、極端に乾燥させなければ問題ありません。



ツルマサキ
常緑性低木。
枝がツル状になってよく育つことから、グランドカバープランツとしても用いられます。
日当たりと風通しの良い場所を好み、乾湿ノメリハリをつけて水やりをして下さい。

季節の花苗



インパチェンス

初夏から秋まで咲く一年草です。日当たりの悪い場所でもよく育ちます。夏に切り戻しをすると、秋に再び花を咲かせます。



ルドベキア

初夏から秋にかけて開花期を迎えます。
一年草のルドベキアは冬季に枯れてしまいますが、宿根草のルドベキアは秋に最後の花が終わったら地際で切り戻しましょう。



ユーフォルビア ダイヤモンドフロスト

4月～11月頃に白い繊細な小花を次々と咲かせます。花に見える部分は苞(ほう)と呼ばれる花のすぐ下の葉で、本当の花は目立ちません。